

播磨科学公園都市圏域定住自立圏通信

～西播磨の未来を拓く連携と共生のまちづくりを目指して～

西播磨の市町では、大幅な人口減少と急速な少子・高齢化が進んでいます。

このような状況を踏まえ、安心して暮らせる地域を形成すべく、市町相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体の生活機能を確保し、圏域全体の活性化を図るため、**たつの市**が、圏域の中心的な役割を担う「中心市」となり、**宍粟市・上郡町・佐用町**で構成する『**播磨科学公園都市圏域定住自立圏**』を形成しました。

平成 28 年 3 月 30 日に開催した調印式では、4 市町長が、今後、連携し実施する政策やその取組内容、各市町の役割分担などを記した協定書を確認し署名しました。



【定住自立圏形成協定調印式】



■ “^{ていじゅうじりっけん}定住自立圏” って (?_?)

定住自立圏構想は、人口 5 万人程度以上などの条件を満たす中心市と周辺市町とが、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、圏域全体の活性化を図る自治体間連携の取組です。

共生ビジョンを策定！

圏域の将来像や、各政策分野において連携して実施していく具体的な取組内容等を定めた「播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン」を平成 28 年 9 月 27 日に策定しました。

本ビジョンは、構成市町の住民代表や政策分野に関係する団体などの代表者で組織するビジョン懇談会（委員 22 名）における検討や、パブリックコメントによる圏域住民からの意見公募手続きを経て策定を進めてきました。本ビジョンの計画期間は、平成 28 年度～平成 32 年度までの 5 年間で、毎年度所要の見直しを行います。



【ビジョン懇談会】



■ “将来の圏域人口” はどうなるの (??)

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成 72 年(2060 年)には、圏域全体で 47.4% の人口減少が発生することが予想され、人口減少及び高齢化に対応したまちづくりが喫緊の課題となっています。このことから、本圏域では、各市町の自主性を尊重しつつ、相互に役割を分担し、互いに連携・補完しながら圏域の魅力アップに努め、定住促進を推進していきます。

(単位：人・%)

市町名	平成 22 年 (2010 年)	平成 32 年 (2020 年)	平成 42 年 (2030 年)	平成 52 年 (2040 年)	平成 72 年 (2060 年)	差引増減 (H72-H22)	
						増減数	増減率
たつの市	80,518	76,228	70,333	63,467	49,645	△ 30,873	△ 38.3
宍粟市	40,938	36,313	31,839	27,406	19,443	△ 21,495	△ 52.5
上郡町	16,636	14,695	12,641	10,516	6,837	△ 9,799	△ 58.9
佐用町	19,265	16,181	13,454	10,973	6,816	△ 12,449	△ 64.6
圏域合計	157,357	143,417	128,267	112,362	82,741	△ 74,616	△ 47.4

(出典：国立社会保障・人口問題研究所推計資料)

連携事業が始動！

定住自立圏の各政策分野における連携事業が始動しましたので、実施してきた主な事業について紹介します。

生活機能の強化

◇児童・生徒交流事業の実施

昨年10月に圏域の小学生が播磨科学公園都市で交流し、自由電子レーザー施設「SACLA」などの施設見学や自分たちの地域の自慢を発表し交流を行いました。



◇「森林セラピー体験」「しろう 50名山登山ツアー」

昨年10月～11月に圏域住民を対象とした森林セラピーの体験ツアーや、1月～2月に宍粟市の50名山（東山等）の冬山登山ツアーを実施し大盛況でした。



◇「西播磨グルメパスポート」の発行

圏域市町のグルメ（飲食店）を紹介する「クーポン付グルメガイドブック」を作成し、圏域の食情報等を発信しました。（ガイドブック販売：3月末～）

◇「西播磨ビジネスマッチング事業」「たつの・宍粟・上郡・佐用 就職・定住応援フェア」

3月に西播磨の企業を対象とした「ビジネスマッチング事業」を実施しました。また、圏域で就職を希望する学生と地元事業所の出会いの場となる「就職・定住応援フェア」を開催しました。

《その他の連携事業》

- ◇病後児保育施設の相互利用
- ◇高齢者等SOSネットワーク構築事業
- ◇図書館読書活動推進事業
- ◇環境美化啓発看板設置事業
- ◇スキー場団体利用者支援事業
- ◇無料職業紹介事業
- ◇地域経済循環調査事業
- ◇地産地消体験活動推進事業
- など

結びつきやネットワークの強化

◇圏域バス（愛称：てくてくバス）の運行

圏域の公共交通ネットワークの充実を図るため、西播磨総合リハビリテーションセンター等が所在する播磨科学公園都市を結節点とした、圏域バスの運行を1月から開始しました。



◇圏域シティプロモーションの展開（圏域愛称：HARIMAX ヴィレッジ）

圏域の地域資源（人・企業・自然・科学・観光等）をWEBやパンフレット、プロモーションビデオで圏域内外に発信するとともに、東京での説明会の開催、大阪での展示会に参加し、学校等跡地、産業用地等への企業誘致をPRしました。



◇圏域婚活イベントの開催

圏域の見所をバスで巡る婚活イベントを1月に開催しました。

圏域マネジメント能力の強化

- ◇圏域内市町職員交流事業を実施（H28.8月・H29.2月に実務研修会を開催）
- ◇兵庫県立大学と人材育成等の連携協力に関する協定を締結（H28.3月に協定締結）

平成29年度から実施する主な事業

- ◇圏域内の全ての図書館で、パソコンやスマートフォンから図書の利用ができる**電子図書館サービスを開始**します。



- ◇圏域内の図書館で借りられた図書は、圏域内のどの図書館でも返却ができるよう**圏域図書館連絡便を運行**し、圏域図書館の相互利用サービスを更に充実させます。
- ◇医療と介護の両方を必要とする高齢者の方に対し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、関係医師会と連携し、**在宅医療・介護連携ICTシステムの運用を推進**します。
- ◇圏域内福祉施設等に勤務する職員又は勤務する予定の方に対して、資質向上・スキルアップを図るため、**福祉資格取得に係る受講料等を助成**するとともに、圏域で合同研修会を開催し、**生活支援サポーターを養成**します。
- ◇定期乗車券を購入し、新たに姫新線を利用して通勤・通学等される圏域住民の方に対して、**駐車・駐輪場料金の一部を助成**します。
- ◇播磨科学公園都市を発着地点とし、圏域内を自転車で巡る「**西はりまロードサイクリング大会**」を開催します。
- ◇圏域住民の安心・安全な生活を確保するため、災害時に備え、圏域内で共有できる**災害備蓄資機材を整備**します。

☆事業の開始時期や事業内容の詳細については、広報誌、ホームページ等で改めてお知らせします。

【定住自立圏各市町担当課】

- ◆たつの市企画財政部企画課（☎0791-64-3141）
- ◆上郡町企画政策課（☎0791-52-1112）
- ◆宍粟市企画総務部地域創生課（☎0790-63-3066）
- ◆佐用町企画防災課（☎0790-82-0664）
- ◆専用ホームページ [播磨科学公園都市圏域定住自立圏](#)

検索

